

山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木

山名：木曾御嶽山 3,067m		(長野県木曾郡木曾町)
入山日：2020年8月22日(土) 前日夜行バス発日帰り		
プラン担当者 正：鈴木 副：		山頂より左：一つ池 右：二つ池
参加者	L:報：記：鈴木 (単独行)	
	男 1名、女 名、計 1名	
天候：晴れ 無風		
8月21日 (金)	集合時間、場所： 23：00 竹橋発夜行バスにてロープウェイ登山口まで	
8月22日 (土)	6：00 ロープウェイ登山口着 ロープウェイにて飯森高原駅まで 7：15 出発-8：00 女人堂-9：10 覚明堂-10：00 山頂 10：20- 11：00 覚明堂-11：35 女人堂-12：15 飯森高原駅着 ロープウェイにて下山後、15：00 発新宿行きバスにて帰宅 行動時間：5h00m	
荒天候時のエスケープルート：中止、または引き返す。		
装備と食糧	共同装備：共同食：無し	
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、グローブ、帽子、ストック、スパッツ、テルモス、水、ラジオ、日焼け止め、虫よけ、ヘルメット、濡タオル(コロナ対策)マスク、ハンドジェル 個人食：2食 プラス 行動食	
感想	前半は木の階段が続き全身汗まみれの洗礼をいきなり受ける。女人堂を過ぎたあたりから樹林帯を抜け眺望が拝めるようになり、肌をかすめる冷風に後押しされ歩が進む。 当初二つ池経由でお鉢巡りの予定であったが、6年前の噴火の爪痕が残る登山道が通行止めのため覚明堂からのピストンに切り替える。 火山特有の荒涼たる風景に圧倒されたものの、噴火口の見える位置に入れなかったことは致し方なし。帰路ロープウェイ駅直前に雨がぽつぽつ降り出し足早に駅舎内に入ると、ほんの数分後に雷鳴や電とともにすさまじい雨に天気が急変した。 叩きつける雨を暢気に駅舎の窓から眺めながら、気温の急激な下降と同様肝も冷やされた。この影響でロープウェイが1時間半近く運休止待機を余儀なくされたが、ずぶ濡れにならなかった己の幸運が気持ちの上で勝り、怒りの気持ちが微塵も起きなかったことは単細胞の証拠か。	